

※一般的な場合の例示ですので、不明な点をご確認ください。

記載例

※余白に捺印を押してください

太郎 花子

申請人のTEL		
代理人	氏名	
	TEL	

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

伊勢崎市農業委員会長 へて
 【法人の場合】
 ○○株式会社 代表取締役 △△△△
 令和 年 月 日

譲受人 **伊農委 太郎**

「貸借権」を「設定」
 「使用貸借権」を「設定」
 譲渡人 **伊農委 花子**

下記によって転用のため土地の「**所有権**」を「**移転**」したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

申請当事者			
当事者の別	氏名	印	住 所
譲受人	伊農委 太郎		伊勢崎市〇〇町123番地
譲渡人	伊農委 花子		伊勢崎市〇〇町124番地
以下	余白		

転用の目的	農家住宅用地・露天資材置場用地・露天駐車場用地・建売分譲住宅用地・事務所用地・店舗用地(コンビニエンスストア)・共同住宅用地・太陽光発電所用地等 ※短期間の利用の場合は(一時転用)・既存施設の拡張の場合は(敷地拡張)と付記 ※2つ以上の目的がある場合「及び」でつなぐ 例) 露天駐車場及び露天資材置場用地
契約の内容	

(該当字句を○で囲む。)	権利の設定 移転の時期	許可有次第
○ 売 買 ・賃貸借・使用貸借・その他()		

許可を受けようとする土地の表示その他									
土地の所在			地番	地目		面積 (㎡)	所有者氏名	耕作者氏名 及び 権利の種類	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別等
市町村	大字	字		登記簿	現況				
伊勢崎市	△△町	〇〇	100-1	田	田	300㎡	伊農委 花子	伊農委 花子 所有権	非線引きの都市計画区域
以下	余	白							
				実際の現況を記入 (畑、田、宅地、雑種地等)		耕作していない場合 (休耕中も含む)は — を記入		市街化調整区域、 非線引きの都市 計画区域のいず れかを記入	
計			300	㎡	(田	300	㎡	畑	㎡)

転用事由の詳細					
譲受人: 譲受人・譲渡人双方の立場から、その事業を必要とするに至った理由・経緯、申請面積を必要とする理由、等を記載					
譲渡人:					
転用の時期 具体的な年月日を記入 (許可日より後)					
工事着手年月日	令和〇年 6月 1日	事業の操業期間又	令和◇年 3月 31日		
工事完成年月日	令和◇年 3月 31日	は施設の利用期間	から	永	年間
転用目的に係る事業又は施設の概要 所有権移転なら「永年」、貸借権設定なら契約期間を記入 (使用貸借契約は「永年」でも可)					
	名称	棟数	建築面積	所要面積	備考
土地造成			床面積を記入	300㎡	100-2 宅地
建築物	居宅: 木造2階建	1棟	1階 60.00㎡ 2階 40.00㎡	一体利用地の 地番・地目・面 積を記入	100㎡ と一体利用
小計	既存施設の場合、 (既存)と付記	1棟	100.00㎡	300㎡	
工作物					申請地と一体利用地 の合計面積を記入
小計					
計		1棟	100.00㎡	300㎡	400㎡
地下資源採取の場合	掘削深	m	採取量	m ³	
資金調達についての計画					
(必要経費内訳)			(調達方法)		
土地購入費 (賃借料)	500万 円	建物建築費	700万 円	自己資金	100万 円
施設費	円	土地造成費	50万 円	銀行から借入	1150万 円
費	円	合計	1250万 円	補助金	円
転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害の防除施設の概要					
申請地の北側及び西側は道路、東側は宅地、南側は畑に接しております。					
転用の際には、付近に被害を及ぼさないよう充分注意いたします。					
申請地の東西南北隣接地の現況地目を記入					
関係法令の許認可申請届等手続状況	都市計画法第34条第11号開発許可申請中 事前協議書提出済 道路占用許可申請予定 等				
その他参考となるべき事項					